

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
広島市	外原・下野原地区 (外原、下野原集落)	平成25年6月	令和3年1月8日

1 対象地区の現状

①地区内の農地面積	21.0 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の農地面積の合計	15.9 ha
③地区内における70才以上の農業者の農地面積の合計	10.9 ha
i うち後継者未定の農業者の農地面積の合計	2.8 ha
ii うち後継者について不明の農業者の農地面積の合計	3.6 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある農地面積の合計	1.5 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

外原・下野原地区では、圃場整備農地を中心に個人での水稻栽培が行われてきたが、組合員の高齢化や不在地主の増加、さらに水稻の価格低迷や鳥獣被害の増加など、営農活動の継続に向けて多くの課題が顕著になってきたことから、地域の農業や農地の保全、担い手確保について地域において改めて考える必要が生じている。 こうしたことから、外原・下野原営農組合による話し合い活動を通じて農地の利用調整を行い、ハウスでの集約栽培を行う「ひろしま活力農業経営者育成事業」研修修了者や野菜や水稻を栽培する認定農業者、果樹栽培農家を新たに受け入れ、また、個人での野菜出荷農家とともに地域農業の活性化を図っている。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

ハウス野菜の栽培に取り組む認定農業者がイチゴ栽培での規模拡大を計画しており、将来的にはブドウ栽培も含めた観光農業を目指していることから、「ひろしま活力農業経営者育成事業」研修修了者の規模拡大と併せ、農地を集約して活用を図る。また、水稻の認定農業者による、規模縮小を希望する農家の農地借受や作業受託を進める。
--

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	中池 哲平	葉物野菜	0.67 ha	葉物野菜 果樹	1.18 ha	上外原集落
認就	沖村 大祐	葉物野菜	0.61 ha	葉物野菜	1.11 ha	下外原集落
認農	石橋 英範	露地野菜	0.17 ha	露地野菜	0.17 ha	下外原集落
認農	山崎 昭治	水稻	0.75 ha	葉物野菜	1.25 ha	下外原集落
計	4 経営体		2.20 ha		3.71 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

上外原地区では、中池農園が令和2年度、3年度でイチゴの観光農園を進め、令和4年度にはブドウ栽培に取り組む予定である。
なお、中池農園がブドウ栽培に取り組む予定地は、地元農業者と協議し、4年度には中池農園が計画を進めることで内諾を得ている。
また、地区内には新規就農によりブルーベリー観光農園が開始されたこともあり、当該地区のみならず県道37号沿線での地域活性化の機運を醸成すべく、連合自治会や市の地域活性化部局と協議を始めている。

下外原地区では、令和元年度に経営を開始した沖村農園が、令和5年度頃までに周辺農地の条件が整えば50a程度の農地を借り受け規模拡大を目指す。市は、農業次世代人材投資資金(経営開始型)を活用し、経営が安定するまでの期間を支援する。
他方、JA広島市が進めている小豆栽培を地元農業者により取り組む。

(参考) 農地の貸付け等の意向

農地の所在	貸付け等の区分(㎡)		
	貸付け	作業委託	売渡
上外原 下外原	10,756	0	0
計	10,756	0	0